

条例指定法人から提出された外部評価結果

- (1) 特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア・・・・・・・・・・ 1 ～ 5
- (2) 特定非営利活動法人 劇研・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ～ 10
- (3) 特定非営利活動法人 加茂女・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ～ 16
- (4) 特定非営利活動法人 フォーラムひこばえ・・・・・・・・・・・・ 17 ～ 22
- (5) 特定非営利活動法人 FaSoLabo 京都・・・・・・・・・・・・・・ 23 ～ 29
- (6) 特定非営利活動法人 京都DARC・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30 ～ 35
- (7) 特定非営利活動法人 手をつないで・・・・・・・・・・・・・・ 36 ～ 41

○参考：条例指定法人の決算月及び毎事業年度の事業報告書類の提出期限等

	法人名	所轄庁	決算月	事業報告書類 の提出期限	審査委員会への報告 時期（例年）（※1）
1	古材文化の会（※1）	京都市	毎年9月	毎年12月末	毎年3月頃
2	あやべ福祉フロンティア	京都府	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
3	花山星空ネットワーク （※2）	京都市	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
4	劇研	京都市	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
5	加茂女	京都府	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
6	フォーラムひこばえ	京都市	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
7	FaSoLabo 京都	京都市	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
8	京都DARC	京都市	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃
9	手をつないで	京都府	毎年3月	毎年6月末	毎年10月頃

※1 古材文化の会のみ決算月が異なるため、後日開催する審査委員会で報告させていただきます。

※2 花山星空ネットワークは、令和5年7月25日に開催した審査委員会で報告済みです。

※3 環境市民については、京都府は令和5年10月4日、京都市は令和5年11月1日に条例指定を解除したため、一覧表から削除しました。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア
評価実施年月日	令和5年8月1日
評価者氏名(職名)	金川 めぐみ (和歌山大学教授)
評価対象年度(期間)	令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 法人の事業活動, 組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は, 組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	✓	□	☑	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	✓	□	☑	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
✓	□	☑	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合, 以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位: 運転部	45%
		第2位: 清山荘	40%
		第3位: お助け	5%
		介助部	5%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外(管理部門等)			5%

※1 例: 総従事時間数に占める各事業及び事業以外(管理部門等)への従事時間数の割合
(表の合計は, 100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで, 「主たる事業」の「第2位」, 「第3位」, 「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は, 「-」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき, 総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	✓	□	☑	□
③ 決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	✓	□	☑	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	✓	□	☑	□
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	✓	□	☑	□
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	✓	□	☑	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	✓	□	☑	□
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	□	✓	□	☑
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	✓	□	☑	□
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	✓	□	☑	□

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	✓	□	☑	□
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	✓	□	☑	□

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	✓	□	☑	□
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	✓	□	☑	□

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	✓	□	☑	□
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☑	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	一般市民
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	・送迎用マイクロバス等に募金箱を設置 ・イベント、教室での寄付募集
③ 評価対象年度における寄附者の人数	50人
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ <u>ほぼ増減なし</u> ・減・大幅減) <理由> 個人への呼びかけ、善意の少額寄付にとどまっている為
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	法人等へ活動内容説明を行い、賛同を得て、寄付獲得を図りたいが、人員、時間的に余裕がない。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	✓	□	☑	□
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☑	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	行政から補助金の支援
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	法人に賛助会員になってもらうための依頼活動
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	支援依頼を行うスタッフ不足

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

令和4年度の事業実施報告書を見ると、①ボランティア部門（運転部、介助部、企画部で運営）②せいざん部門（清山荘の管理事業）の2事業が実施されており、いずれの事業も本NPO法人の活動意義をよく理解した上で実施されている。

上記事業の成果として、例えば主要事業である①の「運転部」事業は、令和4年度利用会員約1,388人、総送迎回数40,215回と堅調であり、この間新型コロナワクチン集団接種の移送サービスも160回行い貢献しており、本事業の成果は大きい。また②のせいざん部門の管理については、入館者は前年度比106%、土日入館者数は前年度比111.65%と来館者数も前年度と比較して上向きである。事業運営費に見合った活動実績を上げており成果があると考えられる。

また社会に対しての活動成果の発信として、清山荘の運営管理を通じて、つどいの場を活用することにより特に綾部市民に対し情報発信を積極的に行っていることが事業報告書からわかる。なお3年ぶりに「せいざん・ユニセフまつり」が実施できたことも非常に意義深い。

なおHP (<https://www.ayabe-wf.net/>) も閲覧者にわかりやすく作成され、新着情報の発信につとめておりこの点を高く評価できる。合わせてさらに身近な広報媒体としての会報等の定期発信に努めて頂きたい。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

同法人の理事会議事録、総会議事録、令和元年度事業報告書等の各種書類を確認したところ、財務管理の透明性について問題ない状況であった。

また組織運営の体制等も、各種書類を確認したが、いずれも問題はないと確認できた。

情報公開についてであるが、事業報告書などは作成できており、こちらの適切性についても十分であると考えられる。

コンプライアンス（法令遵守等）については、同法人の服務規程および会員への研修会の内容を確認した。特に福祉有償運転を実施する事業を有するNPOとしては、安全管理やリスクマネジメントは大事な要素だが、この点も令和3年度の会員研修の中で実施されていることが確認でき、適切に配慮されていると考える。

また、組織運営の透明化のためには、会員相互の意思疎通が図られているかが重要な要素であるが、令和4年度においても、「ボランティア交流会」や「運転部意見交換会」等、会員の意見をくみ取る場の設定が工夫されており、この点についても問題ないと考えられる。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

本外部評価書にも記載があるように、寄付を獲得する為の取組として、送迎用マイクロバス等に募金箱を設置したり、イベント、教室での寄付募集を随時行っており、法人に対する支援として寄付を受けるための工夫の取組は一定程度行っていると考えられる。

また寄付以外の支援として、運転部を実施するためには継続的な人的支援の確保（運転会員の維持・増強と質の担保）が大事になってきており、その点もフロンティア講習会などの機会を踏まえて実施されていると考える。

今後は法人におけるイベント実施等のさまざまな寄付の機会をとらまえて、さらに多くの寄付や寄付以外の支援も実施も着実に進めたい。法人内部での検討を引き続き進めて頂きたい。ただ今回、賛助会員も新たに募っていることが法人通常総会議案からも確認でき、その点の努力につき評価したいと考える。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
身近な広報媒体としての会報等の定期発信に努めて頂きたい。	9月より「せいざんだより」を再開し、年4回定期発信を行っていく。
法人におけるイベント実施等さまざまな寄付の機会をとらまえて、さらに多くの寄付や寄付以外の支援実施も着実に進めるよう、法人内部での検討を引き続き進めて頂きたい。	10月開催の「せいざん祭り」に募金箱を設置したり、新しくフェイスブックページも作成し発信していく。

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人劇研
評価実施年月日	令和5年6月27日
評価者氏名（職名）	小暮宣雄（京都橋大学現代マネジメント学部 名誉教授）
評価対象年度（期間）	令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	文化・芸術による地域のまちづくり事業	80.1%
		人材育成事業	2.4%
		創造事業	4.3%
		文化・芸術活動支援事業	3.4%
	主たる事業以外の事業		0.2%
事業以外（管理部門等）			9.6%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合（表の合計は，100%となる。）

※2 実施している事業の数の関係などで，「主たる事業」の「第2位」，「第3位」，「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は，「－」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	一般市民
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	ホームページでの募集、事業を通じての募集（呼びかけ）
③ 評価対象年度における寄附者の人数	2人
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・ <input type="checkbox"/> 減 <input type="checkbox"/> ・大幅減) <理由> コロナなどの影響で寄付を募りやすい事業（お祭りなどまちづくり系事業、国際交流系事業、旅公演など規模の大きな公演事業）の減少
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	寄付への意欲を高める工夫や訴えかけ。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	事業における運営補佐としてボランティアに従事していただいた。(年間時間数 42.66 時間)
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	チラシ・web、sns による募集。各事業ごと口コミによる呼びかけ。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	来ていただいたボランティアの満足を満たすような仕事や指示の与え方、研修。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等，広く社会に対して活動の成果を発信しているか，地域団体等の他団体との連携の状況など。

事業ごとのホームページや SNS を通じて広く活動成果を発信している。
大学や地域団体、公立文化施設等と広く連携をしている。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性，組織体制の状況など。

財務管理はすべての領収証、帳簿が 10 年以上分保管され、財務諸表も公開されており透明性が保たれている。
理事会、総会において適切に事業および会計の報告がなされ、監査も適切になされている。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

コロナ感染症の影響で事業規模が縮小になるなど、寄附を集めるための材料が乏しくなることは理解できるが、コロナ感染症の収束に伴って寄附を募る工夫を一層行っていくとともに、呼びかけの工夫を期待したい。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
「預り金」の処理について、修正処理を積み残しているが、次年度中に原因を究明し、透明度を高めるよう努力いただきたい。	「預り金」に関しては、一部ミスの原因を究明し、修正処理された。しかし、まだ究明されていない処理が積み残されている。次年度中に残りの問題について原因の究明をし、修正処理する計画である。

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 加茂女
評価実施年月日	令和5年8月10日
評価者氏名(職名)	三宅 諭 (公益財団法人国際高等研究所コーディネータ)
評価対象年度(期間)	令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 法人の事業活動, 組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は, 組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合, 以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位: (竹林整備と竹活用ビジネスモデルの構築)	55%
		第2位: (リサイクル活動)	15%
		第3位: (広報誌の発行と資金集め)	15%
		このほかの事業	-
	主たる事業以外の事業		5%
事業以外(管理部門等)			10%

※1 例: 総従事時間数に占める各事業及び事業以外(管理部門等)への従事時間数の割合
(表の合計は, 100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで, 「主たる事業」の「第2位」, 「第3位」, 「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は, 「-」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき, 総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 寄附の呼掛け対象	個人対象
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	ホームページや会のパンフレットに掲載している
③ 評価対象年度における寄附者の人数	2人
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・〇ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由>
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	担当してくれる人材不足

(2) 寄附以外の支援について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	通信配布者 毎月 22人×12月 (ほぼ1回1時間) 竹林整備者 毎月 20人+α×12月 (1回5時間) 民間や行政からの助成金や補助金を受けている
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	毎月ミニコミ誌及びネット配信での募集を行っている 京都新聞が時々掲載してくれる

③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	
-------------------------	--

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等，広く社会に対して活動の成果を発信しているか，地域団体等の他団体との連携の状況など。

本法人は、その目的に「地域住民に対して、ボランティア活動を活発にし、併せて町づくりへの積極的参加を推進する」ことを理念として掲げ、各種の事業を活発に展開し、大きな成果を挙げている。取り組まれている事業を列記すると、①新たなコミュニティを創造するための育成活動、②住民交流施設などの運営と研究、③地域活性化のためのイベントなどの開催及び参加、④ミニコミ誌などの発行、⑤市内放置竹林整備などの環境保全及びその活用、⑥地場産業の育成、⑦環境保全推進のためのリサイクル事業と多岐にわたっている。

中でも「市内放置竹林整備などの環境保全及びその活用」を中心に展開される活動は、京都南山城地域を代表する天然資源「竹」に着目し、その持つ有用性を現代社会に問いかけ、活かして行こうとする特筆すべき取組となっている。地域環境の保全に止まらず地場産業の育成と、それを核とした確かな地域づくりへの展望を拓く因となるものとして期待される。更に、2030年を目標年次とする国連の掲げる「SDGs」の取組、また、2050年目標年次とする国の掲げる「グリーン成長戦略」にも関連する取組としてその発展が期待される。

それだけに、「法人の目的を達成するための中長期的計画」の策定が望まれるところ、社員総会の議決を経た「計画書」は未作成である。理事会での了解に留まっている。中長期的視点を踏まえた各年度の社員総会の議決に基づく単年度事業計画の的確な策定と実践を期す上でも重要と思われる。総会決議を経た「計画書」の早期の策定によって各事業が体系的、系統的实践に繋げて行かれることを期待する。そのためには、理事長のもとに理事を始めとする有識者の議論の場を設け、中長期的計画の策定に向けて集中的に議論されてはいかかであろうか。また、その際に、こうした課題に対応できる中長期的な執行体制、財務管理の在り方についても議論されてはいかかであろうか。

追って、定款規定されている事業項目と各年度の事業計画の項目建てが照応していないものがある。実態を即して、整合性を図ることとしたらどうか。また、今後の的確な法人運営を確保するためにも収益事業と非収益事業の区分を事業計画及び収支計画において関連性を持たせ、分かりやすく区分して表記したらどうか。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

当法人の財務状況については、毎年度、総会において承認された財務諸表をホームページにアップし広く関係者の閲覧に供しており、その透明度には高いものがある。だが、組織体制については、事業が多岐にわたり、その規模も相当なものとなっていることと対照すると、必ずしも、それに見合うものとなっていないのではないかと。

当法人の組織運営については、当然、法人の事業活動の在り方と密接不可分の関係にある。当面、地域に協力者を求めながら対応するとしても、3 に記述したとおり、中長期的計画を策定する議論の際に、取り組むべき課題に対応できる中長期的な執行体制、財務管理の在り方についても議論されてはいかがであろうか。

特に、資金の中には、各年度の事業の遂行に直接関わらない資金があるが、それについては、基金制度を導入するなどして、一般資金管理から切り離して特別管理下に置き、中長期的計画に沿った活用に備える工夫もしてはいかがであろうか。また、貸借対照表、財産目録等を整備し、かつ、監事監査に付しているのであれば、その実態に照らして、監査報告書に、収支決算書に加えて、その旨を明示すべきではないかと。

また、組織体制については、本法人の事業が多岐にわたっていることを踏まえると、理事の担当制を採用することが適確な事業執行を担保する上では必要と思われる。当該理事が各部門長としての役割を担いながら、理事長の下で、各部門の調整を理事会等で図りながら、内部統制の利いた執行体制を構築することも必要なことではないであろうか。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

行政機関からの補助金のほか、民間ファンドからの助成金など寄附以外の支援についても積極的にアプライしている。また、大学生などとのコラボによる竹林整備、竹林の多面的活用の方途としてサバイバルゲームの場として提供するなどの事業を展開するなど、市民の関心にこたえる事業を展開している。さらに、ホームページの整備、研修生の受け入れなど新たな取り組みを計画するなど、より多くの寄附につながるであろう取組にも配慮しており、その成果が期待される。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
中長期的な計画を理事会だけでなく総会決議で行うべきである。	現在は会独自の活動場所の土地を買って面積を増やしていきながら整備を進めているところであり、全体の広さも定かにはなっていないため、難しいものがある。しかし、会員を集めて土地利用の学習会等を講師を招いて行っている。
ホームページの内容等、会の活動に合わせて、見合っていないのではないか。	ホームページは当初作った時から、どんどんページを増やしている関係から、大変見にくいものになってきているのは承知している。現在作り直しの検討に入っている。
使わない資金を基金に繰り入れたらどうか。	土地を買って行っている状況と、買った土地の整備のための作業道の工事費等、出ていく金額が現在は多く発生するので、一定の見通しがついてから基金に入れたいと思っている。
理事の担当制の採用	近くに住む理事については分担制が進んで来ている。むしろ担当を任せられる人の雇用を考えていきたい。市には地域おこし協力隊の派遣をお願いしている。

備考（審査委員会のコメント）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法フォーラムひこばえ
評価実施年月日	2023年 6月29日
評価者氏名（職名）	浜岡政好（佛教大学 名誉教授）
評価対象年度（期間）	2022年度（2022・令4年4月1日～2023・令5年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。*	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

*今年8月～11月に行われる中小企業家同友会主催の実践塾（10年ビジョン立案講習会）に理事長が参加し、2023年度中に策定する予定→研修を受けたうえで、職員が参加する形で作成することが大切だと指摘を受けた

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 （※1）
事業 （※2）	主たる事業	第1位：ひこばえ・居場所事業	20%
		第2位：京都市受託児童館事業	20%
		第3位：放課後等デイサービス事業 2か所	20%
		第4位：就労継続B型・生活介護事業	20%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外（管理部門等）			20%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合（表の合計は，100%となる。）

※2 実施している事業の数の関係などで，「主たる事業」の「第2位」，「第3位」，「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は，「-」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

③ 決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し，第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が，監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また，適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等，役員名簿，定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は，外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。*	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や，写真やデータなどを用いたレイアウト等，読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

*→年度末はじめの混乱で，仕上げの時期にどこの事業所も手が回っていない状況があり，毎年反省している。法人内で重要視できていない風潮がある。

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し，遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保

除制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法) など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。*	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

*気持ちはあるが、積極的な工夫は後回しになっているのが現状

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	会員 地域住民 利用者
② 寄附を獲得するための取組・工夫 (会報誌や法人ホームページで募集, イベントでの呼掛け等)	会報誌 イベント時の呼びかけ 会費徴収時の呼びかけ ホームページでの呼びかけ
③ 評価対象年度における寄附者の人数	2022年度決算額 41件 1,233千円 △1,219千円 2021年度決算額 137件 2,452千円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・ 減 ・大幅減) <理由> 2021年度は建物建築のためのクラウドファンディングを行ったため、件数が増えた。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	慢性的な資金不足なので、「法人の運営を支えてほしい」という漠然とした呼びかけでは寄附が集まらない。「建物を建てる」など具体的な理由があると集まりやすいが、頻繁にそのような具体的な理由がない。「法人の運営」という理由を、具体的にわかるように伝えていく方法を研究したいと考えている。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援 (ボランティア, 法人実施事業への協力, 補助金・助成金等) を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	文庫活動の読み語りやサークル活動の講師、えんぴつカフェ(学習支援)の学生ボランティア、地域食堂の食事作りボランティアなど 地域住民の地域活動参加の窓口として、活動と呼び掛けている。 居場所 2022 年度実績 延べ活動人数 254 人 延べ活動時間 591.5 時間
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	ひこばえ公式 LINE にて活動呼びかけを行う。バス停前の掲示板に呼びかけビラを貼る
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	活動する一人一人に法人の趣旨を理解してもらい、コーディネートするところへの人員がなかなか確保できない

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等, 広く社会に対して活動の成果を発信しているか, 地域団体等の他団体との連携の状況など。

(1) 活動の意義・成果等

2022 年度はコミュニティ館の新築、本館の改修工事が完成し、各事業も本格的に稼働し始めた。その結果、収支は改善し、5227 万円の収支差額を残すことができた。しかし、この事業拠点の整備に係る建設資金は行政の補助が得られない中で、多くの寄付や助成、そして多額の借入金によって賄うこととなったこともあり、今後の法人の事業運営に厳しい課題を負わせることとなった。とはいえ、この多額の寄付や助成、借入金は、法人の 18 年間に及ぶ事業や活動が社会に信認されたことも示している。この間のさまざまな工夫をこらした資金集め活動を一時的な取組とせず、法人の理念や事業を見える形で絶えず発信し続け、地域や社会からの支持をさらに広げることが求められている。

(2) 社会に対しての活動成果の発信

活動成果の発信等については、ホームページでの発信に加えて、機関紙「フォーラムひこばえ」や月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」報などによって発信されている。また新しくひこばえ公式 LINE・Instagram も開始され、情報を定期的に配信する体制も整えられた。事業や活動の規模が大きくなる中で、社会に向けての法人情報の公開・発信はいよいよ重要になっている。ホームページでの充実や機関紙「フォーラムひこばえ」の拡充などを含む広報体制の強化が課題になっている。

(3) 地域団体等の他団体との連携

コロナ禍が収束せず、地域との連携が進めにくい状況はあったが、宇多野少年補導委員会との共催での「うたのわいわいひろば」の開催、また宇多野民政児童委員協議会との共催での「うたのなかよしひろば」の開催、さらに「サンサにこにこひろば」など各種の地域活動に参加している。これらの活動を通して子どもたちの地域での関係が広がるとともに、法人の事業と活動の理解者・協働者を増やすことにつながるものである。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性, 組織体制の状況など。

(1) 財産管理の透明性

総会において事業報告及び決算書、事業計画及び予算、監事監査報告書が審議、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

(2) 組織体制について

①総会・理事会

定款に基づき総会、理事会が運営され、それぞれの機関で適切に審議、意思決定がなされている。議事録も適切に作成され、保管されている。

②監事・監査

監事は第三者性、公正性を確保しており、定款に定める職務を遂行している。

②事務局体制等

事務局に経理専門職員が配置され、迅速、正確な経理事務が遂行できるようになったことは前進である。しかし、事業拡大のなかで依然として法人本部機能の強化は大きな課題である。とくに念願の拠点施設が整い、長期の事業展開の土台ができてきたなかで中長期計画を策定し、その下で単年度計画を推進するという事業経営のあり方を確立する時期に来ている。このことはこの間指摘してきたが、実現できていない。中長期計画の策定を特定の部署や個人に任せるのではなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していくことが必要である。そのためには2つの課題がある。1つは職員研修における法人ミッションの再確認であり、2つは事務局機能のさらなる強化である。中長期計画の策定も法人ミッションの共有も事業拡大のなかで、増大する職員が一つにまとまるために欠かせない課題である。また中長期計画の策定は法人形態の検討課題も浮上させている。

③職員体制

事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。前年にも指摘したが、福祉労働の質は一人ひとりの職員の仕事の質に関わっており、職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような体系的な人材育成の仕組みづくりを急ぐ必要がある。

④危機管理体制

コロナ禍だけではなく他の感染症や自然災害による事業休止のリスクは高まっている。BCPの整備をさらに進化させる必要がある。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

「より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか」に対する法人の自己評価は「いいえ」となっている。これは「積極的な工夫」が十分にできていないという受け止め方からと思われるが、この間の施設整備のために行われた寄付を募る活動や多くの支援者を募る活動は評価できるものであり、そのために寄付や支援者も増えている。これは施設整備という目に見える目標に対しての支援であったが、これからの寄付等の自主財源の確保は日常的な事業や活動に対する恒常的な支援を呼びかけるものとなる。そのためには日常的な事業や活動、さらには法人のミッションを見える形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。また前年も指摘したが、寄付金や支援者を増やす活動は、事業や活動の資金や人手が足りないから行われるという性質のものではなく、地域における福祉活動の担い手を広げていくという法人のミッションに関わる命とも言うべきものである。こうした取り組みのもつ重要性をぜひ職員研修の中に活かし続けてほしい。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
事務局に経理専門職員が配置され、迅速、正確な経理事務が遂行できるようになったことは前進である。しかし、事業拡大のなかで依然として法人本部機能の強化は大きな課題である。	慢性的資金不足があるため、収入のほとんどが現場の業務を遂行するために使用することで精いっぱいである。しかし、並行して、事業を潤沢に回すための管理業務が滞りなく遂行されないと、将来展望が開けない。職員間でそのことを認識し、法人事務局の中に【経理】部門と、【庶務・総務・労務】部門を確立すると同時に、事業と管理が車の両輪で動いていくことを目

	<p>指していく。 そのために、一時金融機関からの事業融資を受けて、先行投資をして体制を整えていきたい。</p>
<p>念願の拠点施設が整い、長期の事業展開の土台ができてきたなかで中長期計画を策定し、その下で単年度計画を推進するという事業経営のあり方を確立する時期に来ている。このことはこの間指摘してきたが、実現できていない。また中長期計画の策定は法人形態の検討課題も浮上させている。</p>	<p>2023年度中に中長期計画を策定することを目標に置いている。評価の中で口頭でも指摘を受けたが、中長期計画の策定を特定の部署や個人に任せるのではなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していくことが必要である。そのために、浜岡先生より2つの課題を指摘されている。</p> <p>①職員研修における法人ミッションの再確認 ②事務局機能のさらなる強化</p> <p>①の事務局機能の強化については、上述の通り体制を整え実践していきたい。 ②については下記の通り</p>
<p>事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。前年にも指摘したが、福祉労働の質は一人ひとりの職員の仕事の質に関わっており、職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような体系的な人材育成の仕組みづくりを急ぐ必要がある。</p>	<p>職員育成体制を2023年度中に下記のように整える 2023年度には、新人、2～3年、中堅、管理職の研修を、テーマを決めて行う。2024年度にはこれらの研修をもとにそれぞれの職員の成熟段階における研修や業務分掌の明示などを行っていく。専門家にアドバイスを受けながら、事務局体制が整った時点で作成に入っていく。</p> <p>また、2023年度中に、職員採用を自社採用に移行していくことを目指し、採用HPの作成やインターシップの受け入れなど検討していきたい。</p> <p>福祉人材確保の大変厳しい時代であるが、法人の趣旨や歩んできた道、福祉労働の本質を追及し、妥協することなく福祉労働者の育成を行っていきたい。</p>
<p>BCPの整備をさらに進化させる必要がある。</p>	<p>BCPの作成は、2023年度中の義務を課せられている。作成のひな型を検討しながら、作成していきたい。</p>
<p>この間の施設整備のために行われた寄付を募る活動や多くの支援者を募る活動は評価できるものであり、そのために寄付や支援者も増えている。これは施設整備という目に見える目標に対しての支援であったが、これからの寄付等の自主財源の確保は日常的な事業や活動に対する恒常的な支援を呼びかけるものとなる。そのためには日常的な事業や活動、さらには法人のミッションを見える形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。また前年も指摘したが、寄付金や支援者を増やす活動は、事業や活動の資金や人手が足りないから行われるという性質のものではなく、地域における福祉活動の担い手を広げていくという法人のミッションに関わる命とも言うべきものである。こうした取り組みのもつ重要性をぜひ職員研修の中に活かし続けてほしい。</p>	<p>前述の職員育成計画や、事務局体制の強化は、すべて法人のミッションをうまく発信していく力につながっている。</p> <p>ひこばえの事業に住民参加を促し、法人の趣旨が今後の社会をどのように変化させていくのかを発信していくことは、大変困難な作業であるが、職員一人一人が事業の中でその体現をすることができたら、おのずと広がっていくはずだと考える。たくさんのOBたちが、時々立ち寄ってくれたりすることも、今までの成果であると感じる。</p> <p>今後、コミュニティーカフェを改修する中で、さらに地域の中に溶け込み、これからも暮らしの課題に、利用者職員一丸で対応し続ける事業展開を行っていききたい。</p>

評価者 浜岡政好氏のメールより

「資料を読んでいて、またホームページを見ていて、18年間のがんばりが地域の中で少しずつではあっても、形になってきていますね。余り例のないまちづくりの形だと思えます。ミッションに自信を持って進んでください。」

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 F a S o L a b o 京都
評価実施年月日	令和 5 年 6 月 22 日
評価者氏名（職名）	杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）
評価対象年度（期間）	令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	■	□	■	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	■	□	■	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
■	□	■	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：地域子育て支援拠点事業	30%
		第2位：食物アレルギーの若者支援研究	20%
		第3位：食物アレルギーサポートデスク	20%
		このほかの事業	10%
	主たる事業以外の事業		5%
事業以外（管理部門等）			15%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合（表の合計は，100%となる。）

※2 実施している事業の数の関係などで，「主たる事業」の「第2位」，「第3位」，「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は，「－」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	■	□	■	□
③ 決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	■	□	■	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	■	□	■	□
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	■	□	■	□
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	■	□	■	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	■	□	■	□
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	■	□	■	□
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	■	□	■	□
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	■	□	■	□

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	■	□	■	□
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	■	□	■	□

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	食物アレルギー支援を行う企業、食物アレルギーに関心がある人、当法人のイベントに参加した人など
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	イオンレシートキャンペーンへの登録、H20 サンタ NPO フェスティバルへの出展の他、ホームページ・ニュースレター、イベントでの呼びかけ。地域のお祭りで啓発活動による募金活動など
③ 評価対象年度における寄附者の人数	延 46 名
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・ 大幅減) <理由> 2021 年度は理事からの寄付が一時的に多かったため
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	コロナ禍を経て、個人会員との関わりが希薄になっている。また、寄付をするには会員にならないといけないような告知になっており、気軽に寄付できる方法がない。事業選択型寄付になっていない。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	【補助金・助成金】 京都府地域交響プロジェクト交付金、中京都市中京区民まちづくり支援事業による助成 【ボランティアの状況】 ・子育て中のボランティア 年間 1 名 / 194.25 時間 イベント準備、つどいの広場絵本読み聞かせ、つどいの広場事務作業など

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の若者ボランティア 年間1名/17.5時間 イベント準備、当日運営応援 ・地域の子育て支援団体ボランティア 年間6名/11.5時間 絵本の読み聞かせ、栄養相談 ・会員から 年間6名/38時間 イベント当日運営応援 ・大学生インターンの受け入れ 年間4名/325時間 通常業務事務作業、イベント準備、当日応援、つどいの広場絵本 読み聞かせ、手遊びなど <p>【企業による食物アレルギー配慮商品の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7社、1団体 268,667円
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	<p>インターン大学生の受け入れによる活動の周知 イベントに参加された方に声掛けし、ボランティアとして受け入れている</p> <p>地域の子育てサークル・ボランティア団体との連携</p>
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	<p>京都市外の団体との連携 職員のマンパワー不足</p>

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等，広く社会に対して活動の成果を発信しているか，地域団体等の他団体との連携の状況など。

FaSoLabo 京都は、2005年の任意団体設立以降、長期に渡り、食物アレルギーの子供とその家族のQOLの向上およびその社会的理解を広げるべく、事業活動を行っている。

とりわけ令和4年度については、「社会的理解」の取組みでは、主たる財源となっている受託事業「つどいの広場」の継続はもとより、地域で子育て中の保護者がボランティアスタッフとして加わったことで、地域の商店街との連携が生まれた点など新しい展開を確認できた。

また、「支援者支援」の取組みでは、食物アレルギーを生活モデル（福祉）で考える場「食物アレルギー相談援助研究会」などシンクタンク的な活動を継続できていることを確認した。今後学会などでの発表も楽しみである。

加えて、「当事者支援」では、ニュースレターの発行（年3回）、ホームページの更新、ティーンミートの開催などの事業が安定的に継続実施されていることを確認した。

その上で、さらなる事業発展を望み、以下の点の検討をお願いしたい。

（1）総会資料における活動報告と活動計画のフォーマットの統一について

総会資料における令和4年度活動報告と令和5年度活動計画のフォーマットの統一が微妙に違うため（たとえば、食物アレルギーの若者支援研究の位置付けが、令和4年度は「調査・研究・政策提言」に分類されているが、令和5年度は「社会的理解」に分類されている）、精査の上統一されたい。

（2）総会における中長期計画の取り扱いについて

中長期計画については、2022年11月開催の第41回理事会や、2023年5月の第43回理事会でも議論されている。当該資料そのもの確認できていないが議事録を確認する限り、認定特定非営利活動法人であることそのものや、つどいの広場の継続についても議論が展開されている様子である。一方、2023年度の総会では中長期計画については一切触れられていないようである。タイミングもあると思うが、NPOにとっては総会が最高の意思決定機関であり、今後は総会においても中長期計画についても議案として、あるいは意見交換のテーマとして設定すべきではないだろうか。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性，組織体制の状況など。

(1) 収益構造の改善について

財務管理の透明性については、今年度は 144,863 円の当期正味財産を残せ、4 年連続での赤字決算を避けられたことを評価したい。一方で、昨年度までの累積赤字（前期繰越賞味財産）が 1,654,572 円あるため、決して楽観できる財政状況にはない。2022 年 7 月の第 40 回理事会において「赤字の原因については今後、分析・議論を行うこととする」ともあるが、ぜひ単年度での赤字脱却のみならず、累積で赤字構造から脱却できるよう、中長期的な視点から収益構造を改善できるよう引き続き創意工夫を期待したい。

(2) 戦略的理事会と中長期計画の連携について

組織体制の状況については、新体制 3 年目となり、かなり安定してきたと推察される。また、理事ボードも新理事長を中心に活発な議論が展開されている。加えて、第 40 回理事会においては今後の戦略的理事会の確立に向け、具体的な人名も含め、検討されている。この議論は中長期計画とも不可分の議題であるため、次の改選期に向け、引き続き積極的かつ前向きな議論を期待したい（例えば、事務局 DX を進めために IT に詳しい理事など）。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

(1) 安定的な助成金の獲得について

助成金についてはここ 3 年間で増加傾向にあり、2022 年度は 300 万を超える額となるなど、組織全体の 25% を占めるところまでできている。この割合を安定的に継続、できれば増やすことができるよう、引き続き関係者との関係性づくりを期待したい。

(2) 寄付金の獲得のための仕組みづくりについて

一方で、寄付金そのものはこの 3 年間で大幅に増える兆候が確認できない。2023 年 5 月の理事会で監事からも指摘（提案）があるように、「会員の申し込みがなくても、1 回のみでも寄付できる仕組みづくり」「用途を限定した寄付の獲得」など、具体的なアクションが求められる。そのためにも中長期的には、ファンドレイジングに長けたスタッフの獲得も望まれるところである。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
(1) 総会資料における活動報告と活動計画のフォーマットの統一について 総会資料における令和 4 年度活動報告と令和 5 年度活動計画のフォーマットの統一が微妙に違うため（たとえば、食物アレルギーの若者支援研究の位置付けが、令和 4 年度は「調査・研究・政策提言」に分類されているが、令和 5 年度は「社会的理解」に分類されている）、精査の上統一されたい。	令和 5 年度以降の中長期計画（3 か年計画）を検討する中で、事業の分類の整理を行った。令和 4 年度の報告は、令和 4 年度計画のフォーマットに揃えている。今後は令和 5 年度の活動計画のフォーマットを基本とし、報告と計画を作成することとする。

<p>(2) 総会における中長期計画の取り扱いについて</p> <p>中長期計画については、2022年11月開催の第41回理事会や、2023年5月の第43回理事会でも議論されている。当該資料そのものを確認できていないが議事録を確認する限り、認定特定非営利活動法人であることそのものや、つどいの広場の継続についても議論が展開されている様子である。一方、2023年度の総会では中長期計画については一切触れられていないようである。タイミングもあると思うが、NPOにとっては総会が最高の意思決定機関であり、今後は総会においても中長期計画についても議案として、あるいは意見交換のテーマとして設定すべきではないだろうか。</p>	<p>2025年度以降のつどいの広場継続や、法人のあり方について、事務局で検討、理事会でも相談を行っているところである。中長期計画についてはひとまず、3か年計画としてAnnual Reportに掲載した。指摘の通り、総会では中長期計画について、議案として取り上げていない。今後は総会でも議案として設定し、現状の事務局・理事会の意向を総会でも報告、意見交換を行うこととする。</p>
<p>(3) 収益構造の改善について</p> <p>財務管理の透明性については、今年度は144,863円の当期正味財産を残せ、4年連続での赤字決算を避けられたことを評価したい。一方で、昨年度までの累積赤字(前期繰越賞味財産)が1,654,572円あるため、決して楽観できる財政状況にはない。2022年7月の第40回理事会において「赤字の原因については今後、分析・議論を行うこととする」ともあるが、ぜひ単年度での赤字脱却のみならず、累積で赤字構造から脱却できるよう、中長期的な視点から収益構造を改善できるよう引き続き創意工夫を期待したい。</p>	<p>現状、単年度で赤字脱却することで精一杯であり、累積赤字を脱却するまでは考えが及んでいないのが現状である。事務局・理事会でも検討を行い、累積で赤字構造から脱却できる様に努めたい。</p>
<p>(4) 戦略的理事会と中長期計画の連携について</p> <p>組織体制の状況については、新体制3年目となり、かなり安定してきたと推察される。また、理事ボードも新理事長を中心に活発な議論が展開されている。加えて、第40回理事会においては今後の戦略的理事会の確立に向け、具体的な人名も含め、検討されている。この議論は中長期計画とも不可分の議題であるため、次の改選期に向け、引き続き積極的かつ前向きな議論を期待したい(例えば、事務局DXを進めためにITに詳しい理事など)。</p>	<p>理事会でお名前の挙がった理事候補については、当法人のことを知っていただくために、まずは事業に関わっていただき、関係を深めているところである。今後の事業でどのような人材が必要であるか、中長期計画と併せて引き続き検討を行い、関係作りも継続して行っていくこととする。</p>
<p>(5) 安定的な助成金の獲得について</p> <p>助成金についてはここ3年間で増加傾向にあり、2022年度は300万を超える額となるなど、組織全体の25%を占めるところまできている。この割合を安定的に継続、できれば増やすことができるよう、引き続き関係者との関係性づくりを期待したい。</p>	<p>助成金については、内容(助成対象や、申請書、報告書の内容)を精査し、申請することとし、増加を目指す。また、関係者との関係性作りに努める。</p>

<p>(6) 寄付金の獲得のための仕組みづくりについて</p> <p>寄付金そのものはこの3年間で大幅に増える兆候が確認できない。2023年5月の理事会で監事からも指摘(提案)があるように、「会員の申し込みがなくても、1回のみでも寄付できる仕組みづくり」「使途を限定した寄付の獲得」など、具体的なアクションが求められる。そのためにも中長期的には、ファンディングに長けたスタッフの獲得も望まれるところである。</p>	<p>監事からの指摘の通り、会員にならなくても寄付ができるような作り付けになっていないことで、気軽に寄付できる体制ではないことは実感しているところである。また、使途を限定した寄付も成果が感じやすく、寄付しやすくなると考えており、前向きに検討したい。ファンディングに長けたスタッフの獲得、または事務局で研修を行い、知識不足を補うなどの方法も検討したい。</p>
---	---

備考(審査委員会のコメント)

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 京都 DARC
評価実施年月日	2023年6月30日
評価者氏名(職名)	松田 美枝 (京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科准教授)
評価対象年度(期間)	2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

1 法人の事業活動, 組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は, 組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合, 以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位: 自立(生活)訓練事業	40%
		第2位: 共同生活援助事業	35%
		第3位: 講演事業	10%
		このほかの事業	5%
	主たる事業以外の事業		5%
事業以外(管理部門等)			5%

※1 例: 総従事時間数に占める各事業及び事業以外(管理部門等)への従事時間数の割合
(表の合計は, 100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで, 「主たる事業」の「第2位」, 「第3位」, 「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は, 「-」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき, 総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	当事者家族、障害者支援員、弁護士、市民等
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	年に6回のニュースレター発行。 ボランティアへの参加。 フォーラムや学校後援等の啓発活動の取り組み。 インターネット寄付の導入。
③ 評価対象年度における寄附者の人数	108
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増 <u>ほぼ増減なし</u> 減・大幅減) <理由> 啓発活動等において、寄付獲得に向けた積極的な声掛けをしなかったことから、新たな寄付者を獲得できなかった可能性がある。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	様々な寄付（銀行振込、インターネット等）に対する、積極的な声掛け。寄付募集に関して、様々な人が目に触れることができるような工夫を模索することも課題の1つである。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	・助成金 ①海合宿→公益財団法人 倶進会 ②井手町農作業 →公益財団法人日工組社会安全研究財団 ③空気清浄機、体温計→京都生協

	④京都 DARC19 周年記念フォーラム →公益財団法人長谷福祉会
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	SNS を用いた情報発信、ニュースレターでの活動報告。社会貢献活動への積極的な参加。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	薬物依存症者に対する社会的な偏見をなくすこと。薬物依存症への誤解を緩和させる活動を検討すること。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

薬物依存者は様々な背景を抱え、違法・合法の薬物の使用を独力では止められない状態となっているため、その状態からの回復においては、いつ・どのような状態の時でも相談できる場が必要であり、地域で回復を支える仲間の存在が必要である。病院や刑務所では、薬物を一時的に断つことはできても、一般社会で排除され生きづらさを抱えた状態が続けば、再使用する悪循環に陥ってしまうため、地域で生活する中での回復こそに意味がある。そのような他では担えない役割を京都ダルクは担っており、そのための活動（デイセンターマハロ、グループホームネクサス）を行い、それを発信（講師派遣、フォーラムの開催、ニュースレターの発行、ホームページや SNS）している。

また、伏見区こころの健康推進実行委員会やこころのふれあいネットワークの所属団体として、他団体と連携し、地域住民のこころの健康の保持増進のための活動を行っている。京都市南部障害者地域自立支援協議会の精神専門部会における講演や、京都府精神保健福祉総合センターでの講演など、他団体での薬物依存症についての普及啓発活動も実施している。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

財務管理の透明性は保たれ、組織体制も安定的に運営されている。ただ、今回の外部評価でホームページの「NPO 法人京都 DARC の運営について」の「非営利組織評価センター」のリンクを確認しようとしたところ、リンクされているはずのページが「見当たりません」となっていたため、善処されたい。定款や役員名簿などは CANPAN のサイトから確認することができ、決算報告書や事業報告書、予算や事業計画書なども同様に確認することができている。これらが誰でも見られるように公開されていることは評価に値する。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

インターネット上の寄附については、昨年度の外部評価以降、工夫されている。また、本人以外にも家族の個別カウンセリングやグループでの家族プログラムもなされており、薬物依存者本人の周囲で苦しんでいる人々への支援もなされている。

薬物依存症やその他の依存症についての理解が、以前に比べて普及してきているように思われる一方で、誤解や偏見がなくなる実情は続いているように思われるが、それでも日々の地道な活動を続け、回復を望む人々が回復に取り組める環境を提供し続けていることは評価されるべきことである。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
ホームページの「NPO 法人京都 DARC の運営について」の「非営利組織評価センター」のリンクについて	「非営利組織評価センター」のページは削除されたため、当法人ホームページからも削除の対応を行う予定。

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 手をつないで
評価実施年月日	2023年8月27日
評価者氏名(職名)	田尾 直樹(立命館大学産業社会学部教授)
評価対象年度(期間)	2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

1 法人の事業活動, 組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は, 組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合, 以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位: 福祉有償運送	56%
		第2位: フードバンク事業	26%
		第3位: いばしょ事業	2%
		このほかの事業	—%
	主たる事業以外の事業		—%
事業以外(管理部門等)			16%

※1 例: 総従事時間数に占める各事業及び事業以外(管理部門等)への従事時間数の割合

(表の合計は, 100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで, 「主たる事業」の「第2位」, 「第3位」, 「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は, 「—」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき, 総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき, 理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価	外部評価
----	--------	------

	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は，介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	個々には賛助会員に対して寄附の依頼文章を送付
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	認定取得直後からホームページで募集
③ 評価対象年度における寄附者の人数	個人5人と法人1社
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・ 大幅減) <理由>前年度は市内に研究所のあるロート製薬社員寄附団体「カルガモ基金」から福祉車両購入資金 200 万円の寄附がありましたが、これは特別なことでした。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	当方の事業では寄附者に対する見返りも考えにくく、やみくもに依頼書を送付することが良いのか悩んでいます。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	フードバンク事業に対し、木津川市のごみ減量活動に該当することとして、年間 30 万円支援を受けている。
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	福祉送迎事業では自前車両を確保するため、府社協の情報を得て助成頂ける企業に積極的に支援の申請をしています。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	現在は車両購入支援のみに申請書を送付していますが、企業は社会福祉法人への支援を優先されていると思われ、 38 支援頂けておりません。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

当法人は、木津川市社会福祉協議会（従前から福祉送迎サービスを実施）、社会福祉法人いづみ福祉会（デイサービス用車両の空き時間を活用した地域貢献の福祉送迎計画）との連携・協力の下、福祉有償運送を主とした NPO 法人として 2018 年 4 月に設立・認可を受けた。

当法人は、その後拡充した事業を含め「住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる地域づくりに寄与する」（定款第 3 条）ことを目的に活動を展開し、①福祉有償運送（福祉送迎サービス）、②子どもや高齢者の居場所づくり、③フードバンクの 3 事業を柱に、行政や関係団体等と連携し着実に各事業を推進・実施している。また、これらの活動実績を基に、2022 年度には認定特定非営利活動法人としての認可を申請し、その後認定を得ている。

各事業のこの間の主な実施状況（実績）と所見は次のとおりである。

①福祉送迎サービス（各年度の事業報告等による）

年度	利用契約者(人)	延べ送迎回数	送迎距離(Km)	送迎収益(円)
2018	21	53	930	141,000
2019	42	477	5,002	768,000
2020	67	535	6,735	1,342,000
2021	70	598	7,151	1,442,000
2022	116	1,342	9,417	2,084,000

※上記の項目すべてにおいて右肩上がりでも拡充実施されていることは、この活動が地域において如何に切実に求められているかを如実に示している。初年度は利用会員 3 名から開始したとのことであるが、活動開始の背景・動機が、木津川市ニュータウン地区開発後 30 年余を経た高齢化の進行と移動困難者が増加する中、このニーズに応える柔軟な利用条件に基づく事業展開がこの間の飛躍的な実績となっていると考えられ、その社会的意義は高く評価される。また、この中には医療的ケア（看護師の添乗）を必要とする高校生の支援学校への通学送迎も含まれており、こうした個別のニーズにも丁寧に対応していることは特筆される。

なお、今後にむけた検討課題として、以下について挙げておきたい。

ア. 利用者・事業規模の拡大を支える登録運転者がこの 3 年間(2020～2022)は 23 名で変わらず、担い手の負担が増大していること（事業継続の安定度）が懸念される。募集・育成の努力も行われているようであるが、市社協との連携や利用会員に繋がる新たなサポーターの確保に一層の工夫が望まれる。その際のアピールポイントとして、利用者の喜びや感謝の生の声及び運転者のやりがいの声をもっと発信していったら如何か。（そうした情報発信、広報の得意な人の確保・協力を含む）

イ. 運転者の誓約書は、この間の経験を基に独自に作成されたとのことだが、一点目の説明について、やや気になる箇所があり以下の点を検討してください。

「利用者が自分の症状に悲観している時など→利用者を元気づけてください」

この場合、利用者が精神疾患のある方であれば「元気づける」言葉はむしろご本人を追い込むような言葉となり、「頑張れ」は禁句の場合がある。この点は、精神科のドクターやクリニックの精神保健福祉士等の専門家の助言を仰いでください。

ウ. 些細なことだが、ホームページでこの事業の実績を掲載している個所で、「輸送」という表記が使われており間違いではないが、輸送のニュアンスはモノを運ぶイメージがあるので、私見ですが実態に即して（ヒトの）「送迎」とされては如何か。（※「福祉有償運送」は許可を受けた名称としてそのままが適当）

②居場所づくり事業

元気アップ体操は、主宰の他 NPO 法人と連携して一つの拠点で実施しているようであるが、無理のない形でのこうした緩やかな連携は、継続性の点でも良い方法と考える。この間、年間 30～40 回をコンスタントに実施されており引き続きの実施が望まれる。

また、他の居場所づくり事業も、年度により条件に応じた実施がなされている。

③フードバンク事業

新型コロナ禍による生活困窮者の新たな当事者に対して、市役所の保護担当課、市社協の支援事業と連携して、「緊急支援を必要としている人の力になりたい」という熱い思いから、この事業を新たに取組むべく、他市への視察研修や定款変更（本事業追加）などの対応を行い、NPO 法人としての迅速性・柔軟性を機敏に発揮したものとして評価される。また、この取組をコロナ対応の一過性の事業としてでなく、フードドライブの拠点を市内での拡充(2021 年度 9 か所→2022 年度 15 か所)に留まらず、相楽地区管内の各社協事務所にも広げており、市社協との協働事業として一層の展開が望まれる。

以上を含む各事業展開の中長期計画(年次毎の発展計画)の検討・策定が期待される

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

当法人の発足以来、全理事が無報酬で多様な諸活動を推進しており、その地域愛に基づく地域貢献に尽力されていることに頭が下がる思いです。心から敬意を表します。

財務管理の透明性については、ホームページにおいて、法人の第1期(2018年度)～直近の第5期(2022年度)に至る各年度の決算書(活動計算書、貸借対照表、財産目録)が公開されているほか、助成金、寄付金についても機関、団体の紹介と用途が明示されている。また、法人運営を支援する賛助会員についても、団体の報告・紹介がされており適切である。

組織体制については、各事業ごとの担当理事体制(役割分担)が確立しており、各事業の執行に責任を持った態勢が整えられている。

その上で、若干の意見を次のとおり挙げたい。

総会の運営に関して、以下の点について吟味・確認が望まれる。

総会への出席及び議案の評決に関して、総会議事録によると、出欠について連絡のない正会員を「理事長への委任」として取り扱い、出席者としてカウントするとともに評決時の議案賛成者にカウントしているが、この取扱いは、定款第28条(評決権)第2項、第3項に照らして問題はないか。私見では定款に定められていない扱いであり、適切とは思えない。行政の見解も確認し、今後の運営において必要な対応を図っていただきたい。

お聞きしたところ、総会案内の際に、そのような取り扱い方を文面で説明しているとのことだが、仮にそのような取扱いが許容されるとの行政見解があった場合であっても、少なくとも運営内規のような形で規定しておく必要があると考えます。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

組織の運営においては、「事務局機能」が重要と考えますが、現状の運営は理事長をはじめ全理事が無報酬で、諸事業および運営に係る「事務局機能」も理事が完全ボランティアとして支えておられると見受けられます。その方法でホームページなど現在の情報発信を適切に行っていることは、素晴らしいし尊いことですが、今後5年、10年と継続的・発展的に推進、運営していくことを見据えた場合、「事務局機能(体制)」を強化していく方策が必要と思われます。それは理事さん自身が最もお考えになっていることと思いますが、理事や正会員とは別の形で(組織構成員ではなく外から)法人運営を手助けしてくれる「サポーター制度」のようなことは考えられないでしょうか。

例えばですが、NPO法人に関心がある人や研究したい学生などに、一時的でも部分的でも、法人運営の助っ人(サポーター)になってもらい、法人の各事業にも参画し運営補助してもらいたいようなイメージです。(全くの思い付きですが)

《評価対象法人記入欄》

2023年8月31日理事会を開催し、下記のように決定しました。

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
登録運転者募集に繋がるような 利用者の喜びや感謝の声 運転者のやりがいの声の発信の工夫	利用者の声及び運転者のやり甲斐を感じている等の声は、運転者から聞き取りしホームページで発信します。また3月に運転者養成講習がありますので、社協広報誌「絆」1月号で講習案内兼運転者募集案内の際にも、やり甲斐を感じている運転者の声として載せてもらいます。
運転者の個人情報保護についての誓約書の中で「悲観している利用者を元気づける言葉」が精神疾患の利用者には禁句の場合があるので専門家の助言の上で、どう対応すべきか	社協に勤務している精神保健福祉士の資格を持つ職員から助言を受け、「利用者を元気づけてください」の文言の代わりに「利用者に寄り添ってください」に変更します。
ホームページの中で送迎実績を「輸送」実績との表現を送迎実績に統一すべきでは？	京都府及び運輸局への事業報告を除き、ホームページや総会等で説明する際にも「輸送実績」の文言は使わず、「送迎実績」に統一します。
総会出欠案内で、連絡のない会員を理事長一任として取り扱っている点 運営内規が必要か	京都府のNPO担当からのご指導を頂き、次回の案内より「連絡のない場合は理事長に一任されたものとして取り扱います」は削除します。今後連絡の無かった会員に対して、機会を得て、意思表示して頂くよう、働きかけます。
「事務局機能」を充実させていくためには、理事、正会員とは別の法人運営を手助けしてくれる「サポーター制度」を考 えて見ては？ 「中長期事業計画」の作成について	現在一番の気がかりは、送迎の受付業務を一人で担当してもらっていることです。昨年の送迎回数が1300回を超えており、一人が受付と配車を担当しており負担が掛かっているが、複数を手分けして出来る業務とは考えられず、その他の業務についても時間をかけて検討します。 「中長期事業計画」の作成の件については、今期から理事に就任した行衛満理事を責任者に、早急に作成する事と決定しました。

備考（審査委員会のコメント）